

## 2024年度 M6 選択型 CC 指導体制評価まとめ

期間：2024年1月9日～2024年6月28日

対象：99名

回答数：372（協力病院 184/附属病院 188）

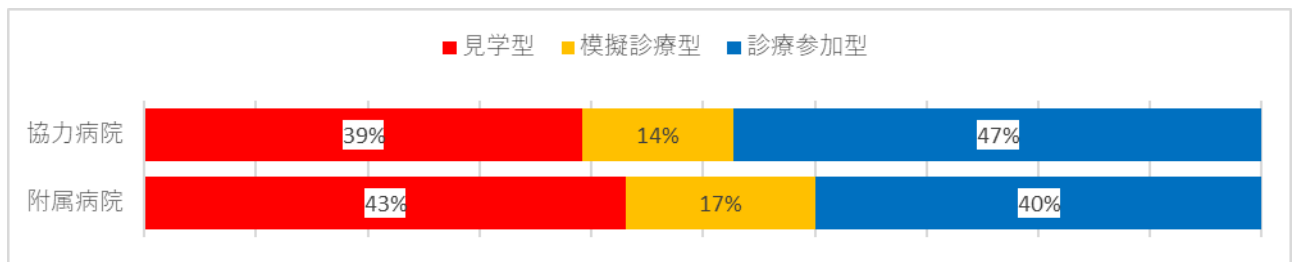
回答率：93.9%（協力病院 92.9%/附属病院 94.9%）

### ① 今回の実習は主にどの臨床実習形態でしたか

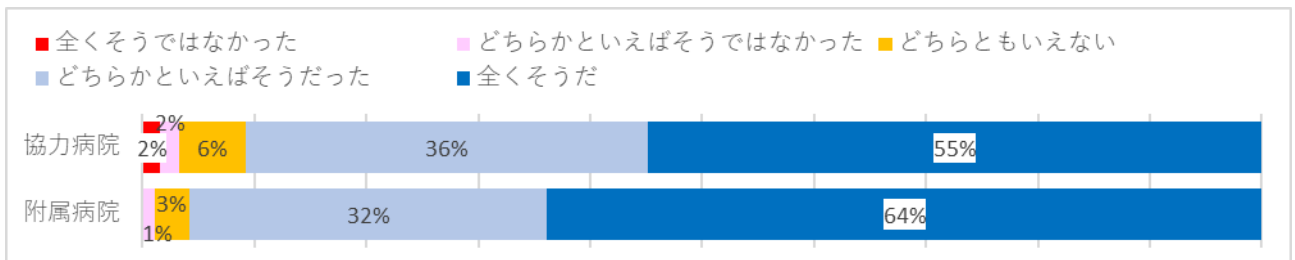
見学型：診察を見学するのみで、患者とは関わらない

模擬診療型：実際に患者と接し、問診や身体診察は行うが、あくまでも実診療の枠外で行われる

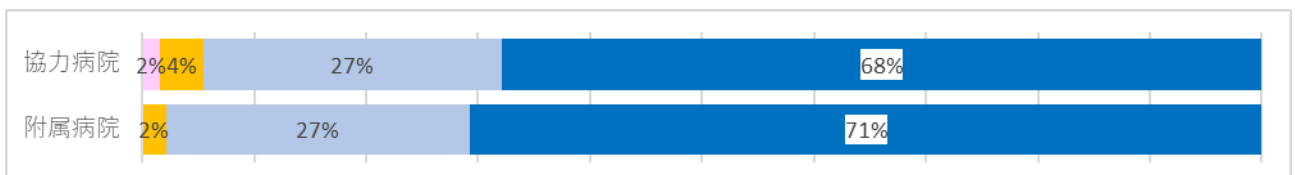
診療参加型：実際の患者診察に医療メンバーとして参加し、指導医の指導・監視の下に許容される一定の範囲の医行為を行い、診察を補助しながら訓練を行う（いわゆるクリニカル・クラークシップ）



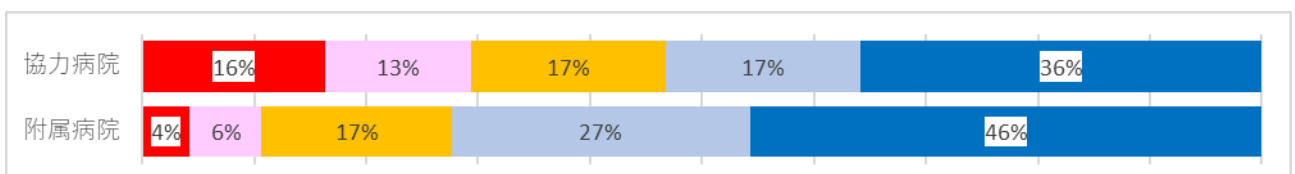
### ② 始めにクラークシップで自分に与えられる診療上の役割が説明された



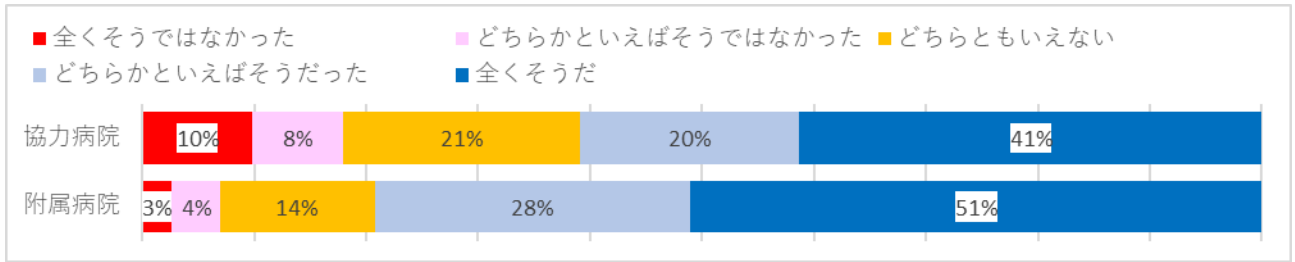
### ③ 患者数や疾患の種類は適切だった



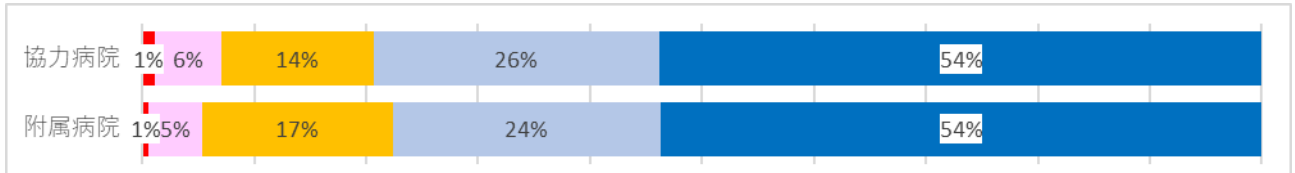
### ④ 正規のカルテを記載する機会が十分に与えられた



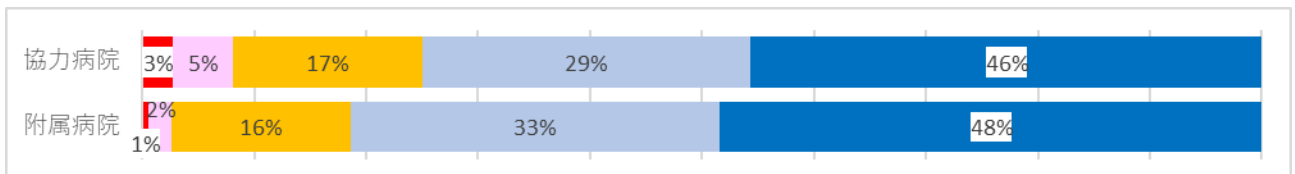
⑤ 回診、カンファレンスなどで症例呈示の機会が十分に与えられた



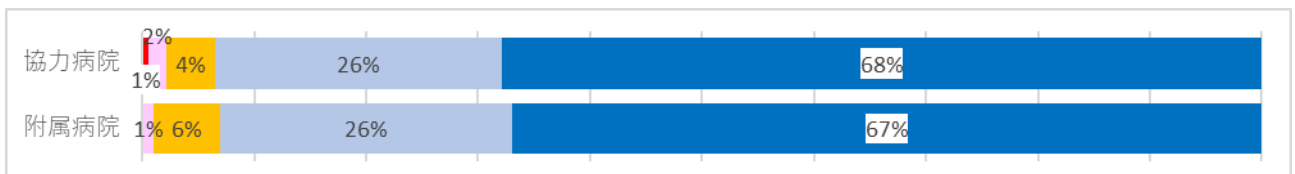
⑥ 医療手技を行う機会が十分に与えられた



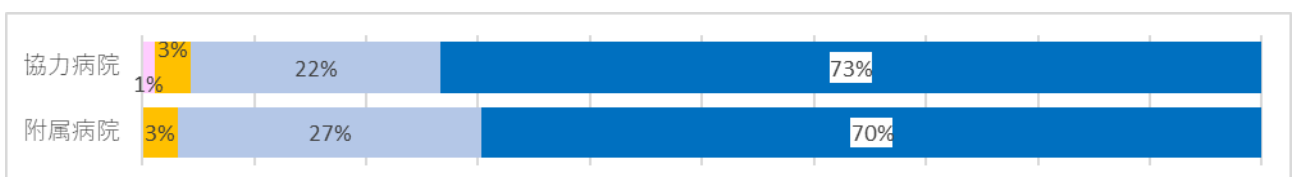
⑦ 診療方針について自分なりの意見を述べる機会を与えてくれ、ディスカッションができた



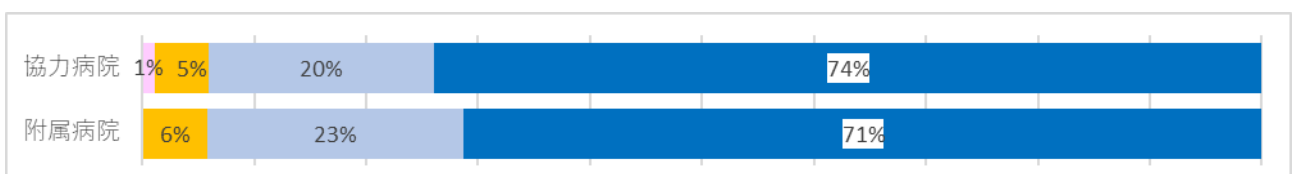
⑧ 口頭で情報提供、あるいは、役に立つテキストや論文などが配付されるなど、手技のコツや診断のカギとなる医学知識をよく学べるように適切な援助を受けた



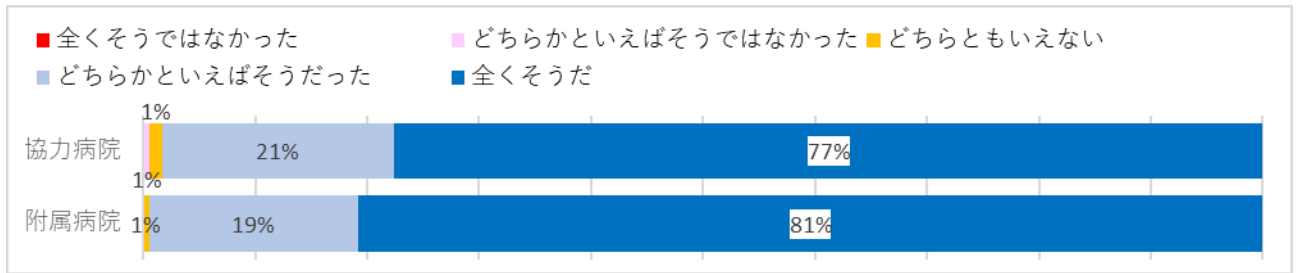
⑨ 指導医や研修医、看護職員から、技能・知識・態度に関するフィードバックがあった



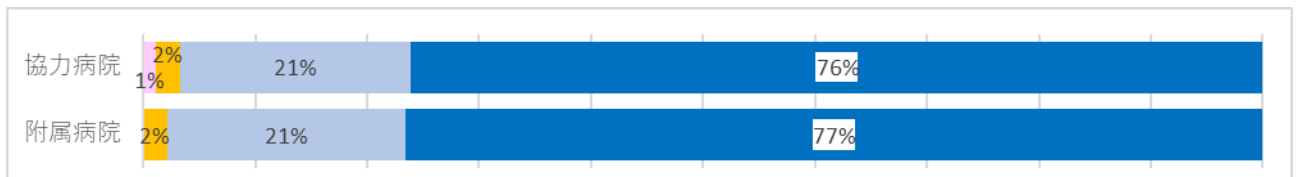
⑩ 指導医や研修医は自分を医療チームの一員として尊重してくれた



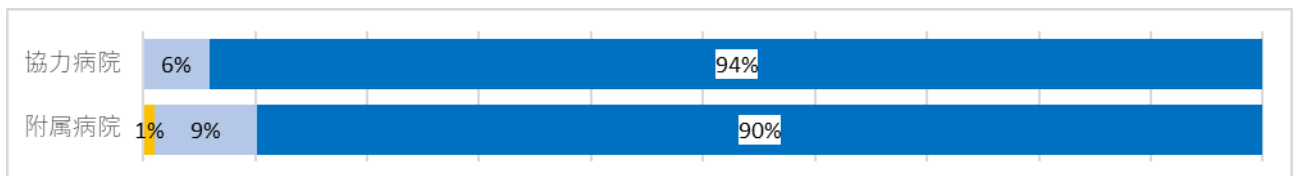
⑪ 指導医や研修医は相談しやすかった



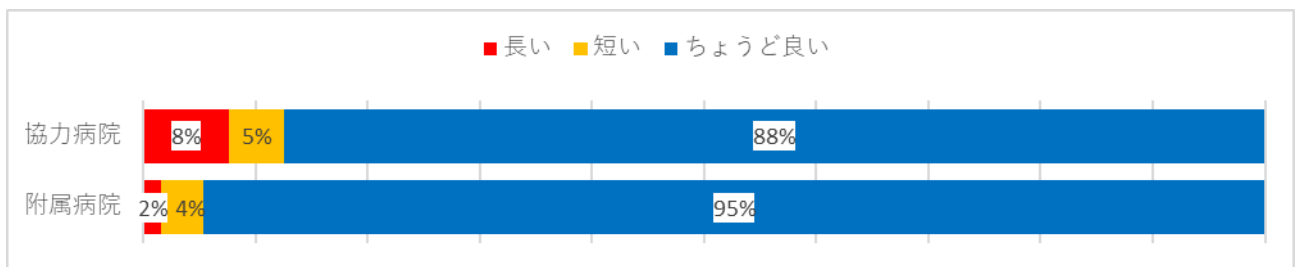
⑫ 指導医や研修医はチーム内、メディカルスタッフとの人間関係がうまくいくように配慮してくれた



⑬ 自分の接した指導医、研修医の先生方は、熱心に指導してくださいましたか



⑭ 1 病院 4 週間の実習期間について



【カリキュラム評価委員会戦略部会からのコメント】

いずれの項目とも前年度より向上がみられ、より充実した実習を提供できていると考えられる。教育協力病院、附属病院とも実習形態が診療参加型となっているのが半数に達しておらず、改善が望まれる。

カルテ記載について、教育協力病院での環境が整わず機会が少ないのは致し方ない面もある。その分、附属病院では積極的に行ってもらいたい。

【カリキュラム評価委員会戦略部会からのコメント】

教育協力病院と附属病院で互いに実習内容を補完できており、大きな問題点も見当たらず、良いCCとなっている。「実習について悪かった点」については自己反省が多く、せっかくの機会を無駄にすることのないよう事前のオリエンテーションなどで周知されたい。